

東海大学がん看護・緩和ケア研究会

12月の事例

化学療法が奏功せず医療者に不信感を抱く患者

発熱やしびれ、肝機能障害といった連日続く抗がん剤の副作用。

5か月に及ぶ化学療法にもかかわらず、奏功しない難治性のがんに患者のストレスは限界に...

治療への意欲減退と医療者への不信感が日々高まる患者への対応に、看護チームは苦悩する。

治療にもかかわらず奏功しない難治性のがんに苦悩する患者への対応について、看護理論を用いた介入方法を検討します。

- 開催日時：2014年12月20日（土）13:00～16:00
- 場所：東海大学伊勢原キャンパス1号館5FC教室
- アクセス：小田急線『伊勢原駅』下車
徒歩20分またはバス10分(東海大学病院下車)
- 問い合わせ：tokai.gankango@gmail.com
- 資料代として200円をご準備ください。